

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎12-11111

◆発行日 毎月1日・15日

◆印刷所 鷹巣北新聞社

〈町民意章〉

未来に目をひらき 福祉を進め

住みよい町をつくります

たかのす

No. 323 · 50 · 11 · 1



晩秋を描く!!

○：周囲の自然は秋の気配が濃いのに、こよみの上では八日が立冬。つまり冬の始まり

ということですが、実際の冬はもっと後で、小春日和の季節といったところでしょうか。

このころは、移動性高気圧におおわれておだやかな日が続きますが、シベリア大陸には氷点下十度以下の寒気がたまって、すでに本格的な冬が始まっています。お天気は周期的に変わり、朝晩の冷えこみ

は日一日ときびしくなります。○：ここ竜森小学校五年の児童たちは、秋の校内文化祭に展示する絵を大張り切りで描いていました。

思い思いの場所に陣取り、画用紙を広げ、課題の「かやぶきの家」をスケッチ。小春日和の絶好のスケッチ日和に、絵筆を握る子どもたちの手も軽やかでした。(写真は、かやぶきの家をスケッチする竜森小学校の児童)

国道105号線

鷹巣バイパスコースが内定



国道一〇五号脇神付近↓高森岱↓米代川横断↓太田↓掛泥↓国道七号大堤付近

▼……………本町と阿仁部町村が、昭和四十八年四月から期成同盟会を結成、国、
 ▼……………県に強く働きかけていた国道一〇五号線鷹巣バイパスの予定線が決まり………
 ▼……………早ければ五十一年度に調査測量とし、五十二年以降に着手する見込み………
 ▼……………となりました。

国道一〇五号線鷹巣バイパス建設促進については、昭和四十八年四月二十六日、現在の鷹巣橋が昭和十五年に架設された永久橋のため、幅員が狭く、そのうえ交通量も多いことから大型車輛の交差はもたらん、冬期間は除雪もできないため、本町と阿仁部町村が結束し、「新鷹巣橋建設促進期成同盟会」を設立。新鷹巣橋の実現を陳情していました

が、今年六月の同総会で新鷹巣橋建設促進を更に拡大し、「国道一〇五号線鷹巣バイパス建設期成同盟会」と改称、関係機関に早期実現を強力に働きかけていたものです。県では、この陳情を受けて昭和四十八年度より調査に着手、交通分析、将来の交通量等を検討、バイパスルートを決めたものです。

一〇五号線鷹巣バイパスのルート決定については、別項三ページの調査経緯によるが、予定されるルートは次のようになっています。起点は、一〇五号線、脇神部落から二百ほど小森よりからバイパスに入り、藤株部

の東端を通って高森岱、中央公園と中堤の中間を経て南北に縦断、陣場沓揚水場下流百ほど地点から架橋、米代川を渡って太田市内の田んぼを経、太田部落(同墓地右側)へ入り、掛泥神社後を経て奥羽本線を立体交差で結び、掛泥から綴子地内の田んぼを北に進み、大堤部落中間地点の国道七号線に結ぶことになっております。

この延長は六・五、車道は上下あわせて四車線(十四)と両側に三の歩道を設置、全幅二十六の大型バイパスです。県ではルートが内定したことから、来年度から調査を始め、五十二年以降、工事着手を計画しておりますが、期成同盟会では、一日も早い着工陳情を今後も強力に展開していくこととしております。

町長 日誌

10月1日、10月15日

議会 日誌

| | |
|--------|--------------------|
| 15日 | 北海道福島町議会議常任委員会視察来町 |
| 8日 | 特別委員会 |
| 6日 | 昭和三十九年度決算 |
| 2、3日 | 昭和三十九年度決算 |
| 1日 | 昭和三十九年度決算 |
| 13、14日 | 昭和三十九年度決算 |
| 15日 | 昭和三十九年度決算 |
| 12日 | 昭和三十九年度決算 |
| 10日 | 昭和三十九年度決算 |
| 9日 | 昭和三十九年度決算 |
| 7日 | 昭和三十九年度決算 |
| 6日 | 昭和三十九年度決算 |
| 5日 | 昭和三十九年度決算 |
| 2日 | 昭和三十九年度決算 |
| 1日 | 昭和三十九年度決算 |

国道鷹巣バイパス

路線採択の経緯

調査概要

現況の鷹巣町地内の一〇五号線は、二車線幅員のため交通混雑がはなはだしく、特に冬期間は除雪もスムーズにできないので、交通が阻害され混雑が増大する状況である。

このような状態を解消するためには、バイパスを建設し通過交通を分散させ、町内の交通量を減少させる必要があり、県では昭和四十八年度より調査に着手し、当年は交通解析を実施し幅員、短絡線、

調査経過

昭和四十八年度・交通解析
 △昭和六十年には、鷹巣町内の交通量は一万五千台、三万台となり、現況の道路では生活にも障害を生ずる結果となり、当然バイパス

△昭和六十年のバイパス交通量は一万台、一万九千台となるので、車道は四車線（十四段）とし、両側に三段の歩道を設置し、全幅員を二十六段と決定する。

昭和四十九年度・比較ルート

調査

は必要となるが、バイパス線を能代側または大館側に想定し、どちらの線が町内の交通量が緩和されるかを検討したが、いずれの線も町内の交通量は一万二千台程度となり、ほとんど同じ結果となった。

△通過する交通量が一万台で、鷹巣町中心に発着する交通量が二万三千台となり、バイパスを有効に利用させるためには、町内との短絡線がもっとも重要であることが判明した。

△昭和六十年のバイパス交通量は一万台、一万九千台となるので、車道は四車線（十四段）とし、両側に三段の歩道を設置し、全幅員を二十六段と決定する。

福祉手当を支給!! 認定請求を早め

果となったので、大館側ルートを採択することになったものである。

家庭において家族などの介護を受けている重度の障害者に対して、福祉手当の支給制度ができました。

次の要件を備えた方は、早めに役場福祉課で受給資格の認定請求を行ってください。

▽日常生活において、常時の介護を要するような障害を有していること

▽身体障害者療護施設などの施設に入所していないこと

▽国民年金法による障害年金などの年金たる給付で、廃疾を支給事由とする給付を受けていないこと（ただし、障害福祉年金については、その受給者であっても福祉手当は支給されます）

▽福祉手当の月額額は四千円であり、直接重度障害者本人に支給されます。

支給月は一月、五月、九月の年三回です。

予防接種を再開します

本町では、六月はじめから中止していました各種予防接種を、医師会のご協力により再開することになりました。

とりあえず、法的に義務づけられているものうち痘そう（種痘）、ジフテリア、急性灰白髄炎（小児マ

ヒ）について実施します。予防接種による事故防止のため、今回から会場に聴打診担当医と、接種または検診担当医がそれぞれ業務を分担することになりました。これはあくまでも、被接種者の正常な健康状態で行うためのものです。

特に、乳幼児をもつ保護者の方は、接種に必ず介添えし、接種前に該当者のからだの状態をチェックする問診票に、保護者の責任において正確に質問に答えるようにしてください。

健康状態がすぐれていないとか、異常と思われる方

は、事前にかかりつけの医師者さんで健康診断してもらおうか、接種会場で担当の医師にその当日症状をお知らせください。予防接種の日時、会場については、そのつど広報でお知らせします。

なお、十一月中の予防接種の日程は、八面のお知らせコーナーに掲載しております。

税の窓

マイホームと税金

マイホームづくりに関係のある税金のあらましは、次のとおりです。

- 一、登録免許税
土地を購入したり、家屋を新築したときに所有権に関する登記をしますが、その際にかかる税金を登録免許税とい
 - 二、不動産取得税
土地や家屋を取得したときには、県税である不動産所得税がかかります。
税率は取得した不動産の価格の三％ですが、居住のために取得したときは税額が軽減されます。
 - 三、所得税の住宅取得控除
昭和五十二年一月一日から昭和五十二年十二月三十一日までの間に、住宅の新築工事に着手または購入した居住用の新築住宅で、定められた要件にあれば、一定の金額が所得税額から控除されます。
- この控除を受けるためには、その年分の所得税の確定申告書に必要な書類を添付して大館税務署に申告する必要があります。居住の目的で不動産を取得した場合には、このような特例がありません。

被災地の 明利又から

二十戸が集団移転

大堤の造成地に十六戸

八月二十日の豪雨で、家屋の流失など大きな被害を受けた明利又部落では、その後移転希望者が相次ぎ、町と移転先や融資などについて話し合いをすすめましたが、十月四日の最終打ち合せ会で二十戸が集団移転することに決まりました。

明利又地区は、戸数三十七 三十haを耕作していますが、戸（内、羽立十戸）、水田約 八月豪雨で家屋の流失一、全



▶移転について最後の打合せをする明利又地区民



壊三、半壊一棟の被害を受けたほか、水田も二十七haが濁流に洗われ、十haが収穫できない大きい被害を受けました。このため町では、二度とこのような水害のないように、国果に対し、早期に砂防ダムな

ど抜本的な河川改修を行うよう陳情を続けております。しかし、住民は「安全な所に移りたい」と町と協議を重ね、十月四日の最終打ち合わせ会で、二十戸が移転を希望したものです。町では移転希望者の内、十六戸を大堤の宅地造成地に決めたほか、残る四戸についても適地を探しています。また移転者の内、清水信一さんら十一世帯は、今年中に移転地へ家を新築することに、準備をすすめております。移転者には、町と県から各五十万円の補助と百万円の融資。住宅金融公庫から半壊以上に五百万円まで、その他の移転者は三百二十万円を限度に借りられるほか、県の住

宅建設資金融資制度で二百万円まで借りられることになっております。この移転で、明利又地区三十七戸の内明利又部落が二十七戸から九戸に、羽立部落は十戸から八戸に減ることになりました。明利又からの移転者（二十戸）は次のとおりです。大堤団地へ〓明石東一郎 金谷勇 清水信一 山田清一 清水清 明石勇藏 本城宗五郎 大川美代治 明石勇治郎 山口嘉七 山田一郎 明石克博 明石昭一郎 明石勝美 明石万吉 清水健二郎 適地を探している方〓明石七郎 山田万治郎 清水春雄 清水富治

国民年金

あなたは大丈夫？

特例納付の期限は 12月末日

町では、現在六、八五六人が国民年金に加入しています。中には掛け金を納めなかつた期間があるために、満期（六十歳）まで納め続けても将来老齢年金をもらうことができないという人も一部見受けられます。

老齢福祉年金は、明治四十四年四月一日以前に生まれた人が支給の対象とされ、明治

四十四年四月二日以後に生まれた人は、原則として支給の対象とはされません。したがって、明治四十四年四月二日以後に生まれた人で、国民年金の強制加入の要件に該当しながら保険料を納めていなかった人は、何の年金も受けられないこととなります。

国民年金の掛け金は二年で特効となるため、普段は古い

未納期間は納めることができませんが、現在、特効となった過去の未納期間についても、一カ月九百円の掛け金で納めることのできる「特例納付」の制度が開かれています。ですから、老齢年金をもらうことができないという人も、この制度を利用して老齢年金の権利を手に入れることができます。

この特例納付ができる期間は、今年十二月末日限りとなっておりますのであと二カ月しかありません。

▽現在まで引き続き強制加入被保険者である人で、保険料未納期間がある場合▽すでに六十歳に達し、被保険者の資格を喪失した人で（国民年金の老齢年金および通算老齢年金の受給権者以外の人）、六十歳前の強制加入被保険者期間中に保険料未納期間がある場合

▽配偶者が国民年金以外の公的年金に加入していること等から、任意加入被保険者となっている人で、結婚前あるいは配偶者が他の公的年金に加入する前の強制加入被保険者期間中に保険料未納期間がある場合

▽現在、国民年金以外の公的年金に加入している人で、その年金に加入する前の国民年金強制加入被保険者期間中に保険料未納期間がある場合……

に該当する人は、特例納付をできる資格がありますので、この機会にぜひ完納していただきたいものです。納付は、鷹巣社会保険事務所へ。

国民健康保険税の

第三期の納期限は……

11月30日まで

各講座の学習作品



学ぶ人々の 楽しい集い

＝公民館定期講座交流会＝

公民館が主催する定期講座生の交流会が、十月十五日午後六時から公民館ホールに約百三十名が参加して開かれました。

会場のホールには、書道、絵画、陶芸、生花、フラワー、古典書解読、盆栽など、各講座の学習作品がいっぱい展示されていました。

長崎公民館長は開会式で、「現代は、いつでも、だれでも学習でき得る時代ではあるが、定期講座のいいのある人達の人や経験の違いのある人達が仲間をつくって学び合うという事は、極めて意味のあることだ。そこでは、趣味としての技術が高められるばかりではなく、相手の気持ちを理解、尊重しながらの相互学習も展開されていくに違いない。

私は、そうした営みの中に必ずやみなさんの人間的な深まりや、広がりや育つてあるうと思う」と、あいさつをしました。

続いて、家庭電気の福田裕子さん、地方史の柴田興益さん、文学の杉湖ケミさん、陶芸の佐藤政五郎さん、フラワーの藤島貞子さんの五人が実践発表。

また演芸では、日本舞踊、詩吟、社交ダンスの発表。パーティーでは、調理教室のドーナツやワイン入りプリンがだされるなど、各講座生が日頃の成果を披露。なごやかな

うちに交流しあいました。なお、公民館では、十一月から始まる後期の講座生を募集しておりますので、ふるって参加してください。

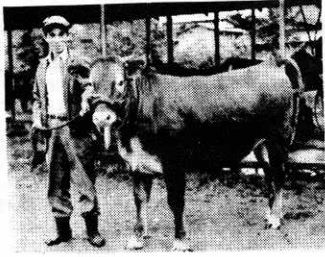
催し物案内

- 4日(火) 主婦の健康教室 体育館
- 6日(木) 少年スポーツ教室 ジュニアトレーニング、卓球 体育館
- 7日(金) 少年スポーツ教室 バスケ、卓球 体育館

秋季子牛品評会

七日市の「たかひめ」が優勝

第十一回北秋田秋季子牛品評会は、十月八日家畜市場で行われ、今季のナンバーワン「たかひめ」が選ばれ、町長



優勝のたかひめと佐藤さん

- 8日(土) 書道、詩吟、文学、フラワー、謡曲講座 公民館
- 11日(火) 主婦の健康教室 体育館
- 13日(木) 少年スポーツ教室 ジュニアトレーニング、卓球 体育館
- 14日(金) 少年スポーツ教室 家庭電気講座 公民館
- 15日(土) 調理、日舞、古文書、盆栽、陶芸講座 公民館

賞など盛りだくさんの賞品が贈られました。

また、団体の部では綴子農協が大量得点で優勝、二位七日市農協、三位大館市農協でした。

本町からの入賞は、次のとおりでした。

- ▽優等賞 ①「たかひめ」佐藤健孝(葛黒)
- ▽一等賞 ①「ひろこ」三上寛(三ノ渡) ③「はるこ」藤島春吉(綴子下町)
- ▽二等賞 ①藤島万一郎(綴子下町) ⑤奈良田甚八郎(同) ⑧畠山満義(松沢)
- ▽三等賞 ①三沢金四郎(松原) ②仲村志治(今泉)

- ③斉藤秀雄(綴子下町)
- ④三沢孝盛(松原)
- ⑤佐藤丹藏(田子ヶ沢)
- ⑥佐藤助松(葛黒)
- ⑦佐藤信一郎(綴子下町)
- ⑧佐藤賢悦(岩谷)
- ⑨堀内八五郎(綴子上町)
- ⑩斉藤和夫(松原)
- ⑪清水佐太郎(明利又)
- ⑫佐藤福蔵(吉ヶ沢)
- ⑬成田武二郎(四渡)
- ⑭お二等賞 畠山幸男(黒森)

貯蓄推進の功績で 小笠原さんが表彰

町の貯蓄推進委員・綴子上町小笠原タマさん(66)は、貯蓄推進の功勞で大蔵大臣、日銀總裁から表彰を受け、このほど八郎潟ハイッで行われた県の貯蓄推進会議で伝達されました。

気象庁子報部によると、十一月は発達した低気圧の影響で天候が一時荒れ、下旬ごろ寒波に見舞われて寒くなり日本海側は大雪。十月二日寒さが前半まで続き、日本海側に一時大雪の恐れがあるが、後半は寒さが和らぐ。しかし、ことしは八

寒波の恐れ

11月12月の天気予報

【十二月】前半は冬型の気圧配置の日が多く、日本海側では雪が降りやすい。後半は移動性高気圧に覆われる日もあり、寒さは和らぐ。十一月の天気予報は次

月から九月にかけて猛烈な暑さのように、偏った天候になりやすいので注意が必要だという。仙台管区気象台発表の十一月の天気予報は次

第十一回町民駅伝大会

青年綴子 職場電工 壮坊沢が優勝

第十一回町民駅伝大会が、「体育の日」の十月十日午前十時、体育館前スタートの中継コースで行われました。

参加したのは、青年の部十区間三十三・五、に七チーム、職場の部六区間二十、に八チーム、壮年の部(三十五歳以上)六区間八・四、に五チーム、合計二十チーム。

当日は、スタートから職場、壮年の競技が終る頃までは絶好のコンディションでレースが展開されましたが、青年の部の七区ごろから風雨やときおりヒョウの降る最悪の中でデットヒート演技しました。

結果は、青年の部で綴子が四年連続五度目、職場の部で東北電工が二年ぶり二度目、壮年の部で坊沢が二年連続でそれぞれ優勝しました。

なお、開会式で町民駅伝に十回出場した次の六選手を表彰しました。

藤内春光、亀山誠(以上栄) 藤内文夫(七座) 中島民利(沢口) 佐藤茂延、佐々木一志(以上坊沢)



▶青年の部優勝 綴子



▶職場の部優勝 東北電工



▶壮年の部優勝 坊沢

【青年の部】①綴子A(1時間57分57秒) ②七座(2時間0分31秒) ③栄 ④七日市 ⑤坊沢 ⑥沢口 ⑦綴子B

【職場の部】①東北電工(1時間13分12秒) ②総合庁舎(1時間13分27秒) ③日通 ④役場 ⑤鷹巣病院 ⑥消防署 ⑦佐々木燃料 ⑧東北製鋼

【壮年の部】①坊沢(31分6秒) ②東北製鋼(34分31秒) ③消防署 ④役場A ⑤役場B

秋季職場野球で 役場が初優勝!!

秋の職場野球大会は、九月十三日から三十八チームが参加して町民球場で行われましたが、十月十二日の決勝戦で役場チームが沢口農協を五対四で敗り、初優勝を飾りました。

なお、同日行われた準決勝で沢口農協は湊屋商店を四対二で、役場は電通を四対〇で

九日 中央公園で クロスカントリー

本町では初めての第三回大館・北秋田クロスカントリーが、九日午前十時から中央公園を会場に行われます。

競技は、中央公園一周二・三、のコースを、一般と高校の中・長距離選手は三周、高校の短・跳・投選手と中学生は二周、女子および壮年(三十五歳以上)は一周の六部門で行われます。

インランド等で栄え、日本で行われ

主婦の健康教室

主婦の教室の十一月の日程は、次のとおりです。多数の参加をお待ちしています。

11月4日 バトミントン大会

11日 スケート教室(秋田スケート場)

18日 バスケケットボール大会

18日 体育館

化学タコゲイラによる 感電事故に注意!!

最近、アメリカ製のタコゲイラ(あげが流行しています)すでに、各地でこのタコによる感電事故が発生しています。

最近、本町でもゲイラあげが多くみられるようになりましたが、このタコあげのときは、次の点に注意して遊ぶようにしてください。

▽必ず広い場所で遊ぶ。

▽電線の近くでは絶対にあげない。

▽もし電線にひっかかった場合は、●棒などでつつかないこと ●電柱にはのぼらないこと ●すぐ東北電力鷹巣営業所(電話二一〇一三八)に連絡してください。

あきたの文芸 作品を募集!!

県教育委員会では、県芸術祭の一環として県民の創作意欲の高揚と、文芸活動の普及振興のため、広く県内から文芸作品を公募しています。

応募作品は、▽詩(本文四十行以内)▽短歌(詠草十首)▽俳句(雑詠十句)▽川柳(雑詠十句)▽小説(児童文芸、戯曲含む)▽四百語原稿用紙五十枚前後)▽評論(文芸研究含む)▽小説と同じの六部門。題は自由、すべて四百語原稿用紙に楷書で記入する。

作品は、原稿用紙一枚に応募部門、題名、作者名(ペンネームの場合)、本名を(ペン書き)、住所、性別、年齢、職業、電話番号、所属同人誌名、作家歴を記入したのを添え、秋田市山王四丁目一番一〇号 秋田県教育庁文化課「あきたの文芸」係へ送付してください。

締め切りは、短詩型は十一月二十日、小説評論は十一月末日。

なお、優秀作品には賞状並びに記念品を授与するとともに、「あきたの文芸」に掲載します。



▶優勝した役場チーム

はた織りの実演など

第七回文化祭へどうぞ!!

11月1日～3日公民館を主会場に

- ▼第七回鷹巣町文化祭は、十一月一日から三日まで公民館、役場、鷹巣……
- ▼小学校、秋北プラザの四会場で盛大に催されます。
- ▼会期中には、はた織りの実演や作品展示、邦雅祭など盛りだくさんの……
- ▼芸術行事がぎっしりです。おさそいあわせのうえ、町民多数のご観覧を……
- ▼お待ちしております。

会期中の催しは次のとおりです。

【展示の部】

▼一～三日 学校教育展（鷹巣小学校）
 生花展、名石展、内職展（役場）
 絵画展、書道展、青年婦人高令者展、盆栽展、園児作品展、菊の展示、健康展（公民館）

写真展（役場、秋北プラザ）
 ※時間は、午前九時から午後五時まで。ただし、三日は午後三時で終了いたします。
 【発表の部】
 ▼一～三日 お茶席（表千家）
 午前九時から午後五時まで、ただし、三日は午後三時まで

▼一日 学芸発表（鷹巣小学校）
 午前九時三十分から正午まで
 音楽祭（混声合唱団、ドンツキ合唱団、鷹巣高校）
 午後六時から午後九時まで

▼二日 邦雅祭（謡曲、詩吟、箏曲、日本舞踊）

午前十時から午後三時まで
 はた織実演 正午から午後五時まで
 働く青年の集い（ダンスの夕べ）午後六時から午後九時まで

▼三日 文学祭（俳句会、読書会、短歌会）
 午前十時から午後三時まで
 はた織実演 午前九時から正午まで
 芸能祭（青年会、婦人会）
 午後十二時三十分から午後三時まで
 ※発表の部は、いずれも公民館で行われます。

博物館の休館日

昨年、秋田市金足にオープンした県立博物館に、休館日を知らずに訪れる人が多く目

役場・公民館・体育館 執務時間を変更

立つそうです。休館日は次のようになっておりますので、来館を計画している方はおまちがいのないように。
 ▼毎週木曜日 ▼国民の祝日
 ▼年末年始（十二月二十八日～一月三日）
 また、子供の日（五月五日）
 県の日（八月二十九日）、敬老の日（九月十五日）、文化の日（十一月三日）は、無料で公開しています。

役場では、冬期間の執務時間短縮を例年実施しておりますが、公民館、図書館、体育館の利用時間も変わりますので、併せてお知らせします。

▼役場 午前八時三十分から午後四時三十分まで。
 ただし、土曜日は午後十二時三十分まで。
 ▼公民館 午前八時三十分から午後九時まで。
 ただし、日曜、祝祭日は午前九時から午後五時まで。
 ▼図書館 午前九時三十分から午後五時三十分まで。
 ただし、土曜、日曜日は午前九時半より午後五時まで。

※実施期間は、いずれも十一月一日から五十一年二月末日まで。
 ▼体育館 午前九時から午後九時まで。

国勢調査の人口当て

町の人口集計概数は 24,742人

昭和50年国勢調査を記念して行いました町の人口当て募集には、86名の方の応募をいただきました。

厳正審査の結果、次の20名の方が入選されました。入選者の方には後日記念品をお届けし、通知にかえさせていただきます。

| 順位 | 予想人口 | 氏名 | 年令 | 住所 | 順位 | 予想人口 | 氏名 | 年令 | 住所 |
|----|--------|-------|----|-----|----|--------|-------|----|-----|
| 1 | 24,737 | 大川康具 | 27 | 南鷹巣 | 11 | 24,709 | 吉岡保裕 | 9 | 広小路 |
| 2 | 24,735 | 成田シナ | 52 | 今泉 | 12 | 24,705 | 吉岡興 | 36 | 小本見 |
| 3 | 24,750 | 松尾ソ彦 | 64 | 太田泉 | 13 | 24,780 | 吉岡ハル | 47 | 二舟南 |
| 3 | 24,750 | 成田智彦 | 7 | 今大町 | 14 | 24,700 | 吉岡藤上 | 32 | 前山 |
| 5 | 24,753 | 佐藤勤治 | 68 | 大町 | 14 | 24,700 | 佐村諸 | 31 | 前山 |
| 5 | 24,730 | 佐佐成 | 63 | 大町 | 14 | 24,700 | 佐村諸 | 46 | 前山 |
| 6 | 24,730 | 佐佐成 | 63 | 大町 | 14 | 24,700 | 佐村諸 | 46 | 前山 |
| 7 | 24,720 | 佐佐成 | 32 | 今泉 | 17 | 24,785 | 諸橋永 | 53 | 前羽 |
| 8 | 24,714 | 石上愛子 | 25 | 新松葉 | 18 | 24,793 | 成田藤 | 44 | 掛太 |
| 9 | 24,772 | 成田捷太郎 | 32 | 今泉 | 19 | 24,688 | 出川 | 51 | 掛太 |
| 10 | 24,711 | 吉岡節 | 34 | 小泉路 | 20 | 24,798 | 藤島美加子 | 8 | 掛太 |

ただし、祝祭日は午前九時から午後五時まで。
 ※実施期間は、十一月一日から五十一年三月末日まで。

秋季定期清掃

秋の定期清掃検査を実施しておりますが、11月5日以降の日程は次のとおりです。

清掃にあたっては、建物の内外の清掃はもちろんのこと、畜舎、堆肥場など、他人に迷惑を及ぼさないよう環境整備に努めてください。

| 月 日 | 実施町内名 |
|----------|----------------------------|
| 11月5日(水) | 深間、相善町、羽立 |
| 6日(木) | 坊沢上町、大町、街道町、新屋敷町、緑ヶ丘、蟹沢 |
| 7日(金) | 黒沢、前山、今泉 |
| 8日(土) | 川口、小ヶ田、湯車 |
| 10日(月) | 湯ノ岱、坊山、四渡、小森、中屋敷、脇神 |
| 11日(火) | 上野、藤株、小摩堂、高森岱、堂ヶ岱、舟場 |
| 12日(水) | 七日市本郷、根木屋敷、妹尾館、中畑、大畑 |
| 13日(木) | 葛黒、与助岱、三ノ渡、黒森、松沢、明利又 |
| 14日(金) | 上舟木、下舟木、吉ヶ沢、深沢、品類、岩脇、横測、吉野 |

お知らせ コーナー



この欄はあなたへの通知です。かならず目をとおしてください。

予防接種

生後六カ月から二十四カ月までの乳幼児を対象に、痘そう(種痘)接種を行います。接種日は、鷹巣地区以外の方は十三日、鷹巣地区の方は十四日。検診日は二十一日(町内全地区)。

時間は、いずれも午後一時三十分から午後三時まで鷹巣町公民館保健相談室で行います。

相談ください。

十一月の健康相談

十一月の健康相談は、十二日と二十六日です。

時間は、午前十時から午後三時まで、鷹巣町公民館保健相談室で血圧測定やムシ菌予防のフッ素イオン導入法を行います。

十一月の妊婦健康相談は、十七日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで、相談場所は鷹巣

町公民館保健相談室です。希望により血圧測定や検尿、衛生教育も行ってあります。なお、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

十一月の乳児健康相談は、六日と十六日です。

時間は、十二時三十分から午後一時三十分まで、相談場所は鷹巣保健所となっています。

▽六日は、五十年四月生まれと七月生まれ。

▽二十日は、四十九年十月生まれと五十年一月生まれ。

県民手帳が入荷

昭和五十一年用秋田県民手帳が入荷しましたので、予約をした方は役場企画室で、代金二百四十円と引き替えにお受けとりください。

善意

このほど鷹巣町ダンス教室の方から、ダンスパーティー収益金の二二、九〇〇円を社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金が寄せられました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳

志に深く感謝いたします。

▽綴子下町 堀内隆三さんから亡父三治郎さんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽伊勢町 小塚福司さんから亡妻リチさんの香典返し

二〇、〇〇〇円

▽東横町 小坂百合子さんから亡夫和雄さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽七日市 佐藤俊晃さんから亡父忠雄さんの香典返し

三〇、〇〇〇円

新町内協力員紹介

▽七日市地区
四組 長 岐 直 蔵

慶弔だより

10月1日〜10月15日
誕生おめでとうございます

- 清野直子(豊 長女) 東旭町
 - 岸部 敬(隆 二男) 西仲通
 - 藤島明子(常昭二女) 東旭町
 - 佐藤知加子(金雄長女) 西旭町
 - 畠山裕美子(吉徳長女) 堂ヶ岱
 - 木村裕美(潤一長女) 末広町
 - 佐藤和子(勝美長女) 下町
 - 畠山章彦(彰 長男) 糠沢
 - 中原 都(純一長女) 新旭町
 - 川口 綾(洋一郎長女) 舟見町
- 二人の前途を祝福いたします
桐越 一英 西横町
細田 由紀子 あけぼの

(9月30日現在住民基本台帳)

| | 前月比 | |
|-----|---------|-------|
| 総人口 | 25,220人 | 51人増 |
| 男 | 12,268人 | 33人増 |
| 女 | 12,952人 | 18人増 |
| 世帯数 | 6,929世帯 | 26世帯増 |

協会の人口

おこやみ申しあげます

佐藤 光浩(11) 本郷
桜庭 秋与(47) 東仲通

| 姓 | 名 | 住所 |
|-----|-----|------|
| 高橋 | 明美 | 古関 |
| 佐藤 | 肇 | 古関 |
| 佐藤 | 多貴子 | 東京都 |
| 小笠原 | 綴子 | 大畑 |
| 佐藤 | 光雄 | 南鷹巣 |
| 藤島 | ひろみ | 太田 |
| 佐藤 | 正幸 | 西住吉町 |
| 花田 | とも子 | 東横町 |
| 藤島 | 隆夫 | 下町 |
| 佐藤 | アエ子 | 高野尻 |
| 神成 | 幸夫 | 小森 |
| 三沢 | 文子 | 南鷹巣 |
| 工藤 | 清満 | 能代市 |
| 福原 | むつ子 | 摩当 |